

特集にあたって

図書館における子どもと本をつなぐ活動の中で、最もポピュラーなのがおはなし会です。

学校支援や連携の増加による学校現場での活動や、障がいや異なるルーツにより読書に困難を抱える子どもたちに対しても、おはなし会は有効であり、多方面にこまやかな対応が求められています。

一方で、経験豊富なベテランはどんどんいなくなり、技術の継承はますます困難になってきているのが現状です。当館ではそういった状況を補うため、子どもの読書活動推進支援員養成講座や出前講習など、おはなし会の技術継承に向けた各種研修を実施しています。

そこで、今号の特集を「子どもと本をつなぐおはなし会」とし、これまで当館で実施してきたおはなし会のプログラム例や、その他さまざまな形で実施しているおはなし会の取り組みについて情報を共有いたします。府域図書館司書の皆様のおはなし会の技術向上に役立てれば幸いです。

目 次

・特集にあたって	1p.
・お話し会でほんとうにたいせつにしたいこと 児童文学作家・児童文学者 村中 李衣	2p.
・大阪府立中央図書館おはなし会プログラム実施例	5p.
・春のプログラム（3月～5月）	5p.
・夏のプログラム（6月～8月）	8p.
・秋のプログラム（9月～11月）	10p.
・冬のプログラム（12月～2月）	15p.
・大阪府立中央図書館おはなし会いろいろ	19p.
・おはなし会関係資料	22p.
・国際児童文学館イベント紹介	26p.
・令和7年1月～12月 児童サービス関係活動記録	31p.
・おはなし会プログラム ～その15～	34p.